

火星來たる！

(本年八月の衝を歓迎するの辭)

海 老 生

火星來る！

赤き火の玉の如く南の空に
一千四百十八萬里の近く迄
我等を迎へてあわんが爲に
お隣の火星は來る！

火星は來る！

水瓶かへせし星座のあたり
堂々西をめざして進み行く
軍神マーズにたぐふべき
巨星はそれぞ、火星は來たる！

火星來たりぬ！

三百六十三年に只一度
いごも地球に近づきて
呼べば應へんお隣に

南の半球示しつゝ、今や彼は來りたり！

汝、空の勇者なる火星よ！

その赤色の顔に何の祕密をかくせるや？

語れ、示めせ、顯はせよ

我等は地の誰にも優りて汝を歓迎す

汝、今ぞ其の眞狀を我等に明示せよ！

汝の面に見ゆる網の目、又濼地オイスムは何ぞ？

白き極冠ポイラカップ、又緑の域は何を暗示するものぞ？

汝は我が地球に似るや？

はたまた我が月に與くみするや？

汝が大氣中の少量なる酸素と水蒸氣は何を語るや？

宇宙の神祕開く望遠鏡の成りてより

最も近く汝の來たれる今日此の時

生を此の地に樂しみつ

創造主つくりぬしの御工究むる我等の幸

汝も彼の榮光示めす一僕婢なれ！